

子ども虐待への挑戦

医療、福祉、心理、司法の連携を目指して

子どもの虐待防止センター 監修／坂井聖二 著＋西澤 哲 編著

A5判 350頁 定価3990円(税込) ISBN978-4-414-40076-2

虐待されている子どもの早期発見と救出を目指して、医療職と心理職ならびに福祉職の連携が求められている。日本子どもの虐待防止センターで長年力を尽くしてきた坂井聖二が、生前小児科の現場で体験したことをもとに児童虐待の早期発見について訴えると共に連携領域からも提言。



目次

第Ⅰ部 小児科医から見た子どもの虐待 (坂井聖二)

- 第1章 子どもの虐待における小児科医の役割
- 第2章 「高い高い」は脳に障害を与えるか
- 第3章 揺さぶられっ子症候群
- 第4章 民間組織の児童虐待予防にむけた役割と支援
- 第5章 「児童虐待の防止等に関する法律」は医療現場にどのような影響を及ぼすか
- 第6章 ある障害児のヒストリー
- 第7章 子どもの虐待のスペクトルとメカニズム
- 第8章 子どもの虐待——救急外来を訪れる身体的虐待を理解するために
- 第9章 小児科領域からみた児童虐待
- 第10章 子ども虐待における連携およびネットワーク——現状と課題
- 第11章 子どもを病人にしたてる親たち

第Ⅱ部 小児科および臨床心理領域の子ども虐待への取り組みと連携

- 第12章 裁判事例を通して見る坂井先生 (社会福祉法人子どもの虐待防止センター 平湯真人)
- 第13章 子ども虐待と小児科医の役割 (淑徳大学 松田博雄)
- 第14章 スーパーバイザーとしての坂井先生 (NPO法人 子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク 山田不二子)
- 第15章 坂井聖二先生と子どもの虐待防止センターが果たしてきた役割 (駿河台大学 吉田恒雄)
- 第16章 「児童虐待の防止等に関する法律」は医療現場にどのような影響を及ぼすか (筑波大学 宮本信也)
- 第17章 「ある障害児のヒストリー」のその後 (山梨県立大学 西澤 哲)
- 第18章 子どもの虐待のスペクトルとメカニズム (山梨県立大学 西澤 哲)
- 第19章 「子どもの虐待」を巡って (田村毅研究室 田村 毅)
- 第20章 坂井聖二——子ども虐待に対する小児科医のまなざし (子どもの虹情報研修センター 小林美智子)
- 第21章 「子ども虐待における連携およびネットワーク」をどう読み解くか (山梨県立大学 西澤 哲)
- 第22章 代理によるミュンヒハウゼン症候群について (国立成育医療研究センター 奥山真紀子)

著者・編著者

さかいせいじ | 元子どもの虐待防止センター理事長、小児科医
にしざわさとる | 山梨県立大学人間福祉学部教授